



届けられたフクロウのヒナ

ねいの里の隣には、傷ついた野生動物の治療やリハビリをするための鳥獣保護センターがあります。毎年たくさん動物たちが運ばれてきますが、一番多いのが春から夏にかけてのスズメやツバメの赤ちゃん（ヒナ）です。

でも、助ける前に覚えておいてほ

親鳥から学べなくなる

生きていくために
必要な皆さんの
ことを覚えること

ができません。人が近くにいると親鳥がそばにこれられないことがあるので、車などの危険がないことを確認したらその場を離れるようにしてみてください。

（見浦沙耶子）

しいことがあります。

巣立ちしたばかりのヒナはまだ上手には飛べませんが、親鳥からエサのとおり方や敵から身を守る方法を学びながら独り立ちするための訓練をしています。

この時期に人が保護し親子を引き離してしまうと、ヒナは自然の中で